

2018年6月18日
日本コンサルタンツ株式会社

ミャンマー国ヤンゴン中央駅における 電子連動装置の使用開始について

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区）、及び株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都渋谷区）からなる共同企業体がミャンマー国鉄から受注していたヤンゴン中央駅・パズンダン駅での連動装置¹の老朽取替工事の施工監理に関し、電子連動装置への取替工事が終了し、両駅において同装置が6月30日より使用開始されます。

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区）、及び株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都渋谷区）からなる共同企業体は、ミャンマー国鉄から受注したヤンゴン中央駅・パズンダン駅での連動装置の老朽取替工事の施工監理を行ってまいりました。両駅合計の進路数は203進路で（注）、この度、電子連動装置への取替工事²が終了し、6月30日より使用が開始されます。

なお、6月16日には、記念式典が開催され、**Thant Sin Maung**ミャンマー国運輸通信大臣、丸山市郎駐ミャンマー日本国特命全権大使等が参加されました。

本プロジェクトは、ヤンゴン・マンダレー幹線近代化の一部であり、(独)国際協力機構(JICA)の無償資金協力によるもので、自動踏切装置³の導入、列車運行集中監視装置⁴の導入と併せて実施されています。

（注）JR 東日本大宮駅、仙台駅（いずれも在来線）に匹敵する大きさです。

1. 今回の取替工事の概要

- ・ヤンゴン中央駅・パズンダン駅を一括した電子連動装置の導入（連動装置老朽取替）
- ・電気転てつ機⁵81台の交換・一部水没対策（分岐器含む老朽取替）
- ・信号機81基の交換・LED化（老朽取替）
- ・軌道回路⁶86箇所⁶の交換（老朽取替）

2. 電子連動装置導入の効果

信号機と転てつ機を連鎖させる論理の確認試験を工場内で集中的に行い、統合的なシステムとして構築することで、品質と鉄道運行の安全性・安定性が向上するほか、多重系の装置構成であり信頼性が向上します。

3. 日本コンサルタンツ株式会社の役割

安全性を考慮した施工監理、連動装置の仕様管理、設備検査ルールの策定支援、駅の取扱

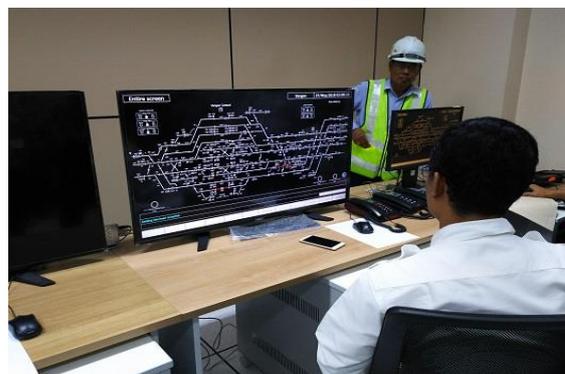
訓練や運行管理員の教育等を行いました。

4. 工期

2015年5月～2018年6月（38ヶ月）



旧：電気連動装置（1941年 英国製）



新：電子連動装置（制御端末 日本製）



記念式典（ミャンマー国運輸通信大臣、駐ミャンマー日本国特命全権大使出席）

- 1 連動装置とは、現場にある信号機と転てつ機間に相互関係を持たせて安全な列車運行を確保する装置です。
- 2 本プロジェクトの施工及び主な機材納入の担当は、三菱商事株式会社・株式会社日立製作所のコンソーシアム、転てつ機に関わる機材供給の担当は丸紅株式会社・三井物産株式会社・三井物産プラントシステム株式会社のコンソーシアムです。
- 3 踏切装置とは、踏切道における通行の安全を確保するための装置です。
- 4 列車運行集中監視装置とは、線区内の列車運行を一箇所で集中して監視するための装置です。
- 5 電気転てつ機とは、分岐器を転換して列車等の進路を変えるための装置です。
- 6 軌道回路とは、線路上の列車等の位置検知や列車等と地上間の情報伝送を行うための装置です。

【お問い合わせ先】

日本コンサルタンツ株式会社

総務部 野村・佐々木 03-6269-9878

技術本部 遠藤（博）・永井 03-6269-9886